

東京理科大学ワンダーフォーゲル部 OB 会 50 周年記念イベント

山岳リレー班山行報告

日時：2009 年 8 月 8 日～8 月 10 日

場所：扇沢～針の木岳～種池～扇沢

メンバー：小沢 昭仁(s50)、小沢 裕子(非会員)

ワンゲル OB 会 50 周年記念イベント山岳リレー第 2 段のうち、種池山荘から針ノ木小屋を結ぶことにした。ただし、烏帽子班と途中まで同行するため逆方向となった。

<8 月 8 日>

扇沢・1433m (9:00)ー針ノ木雪溪ー針ノ木小屋幕営地・2536 m C1(15:00)

前夜に葦崎に集結し前夜祭もほどほどに切り上げ早朝出発する。七倉登山口に高橋車をデポし、扇沢に到着。

登り開始は暑さのせい、あるいは前夜祭のせい、大量の汗が出る。雪溪を交差する頃より、冷気からか冷蔵庫の中にいるような心地良さに変わった。途中、アイゼンを着け快調に登る。最後の水場で給水して針ノ木小屋を目指す。木村会員は 5 リッターの水と一升のお酒とビールをボッカすることになった。

テント設営後、宴会・夕食と楽しい一時を過ごす。

<8 月 9 日>

C1(6:45)ー針ノ木岳・2820m (7:45)ースバリ岳・2752m (8:45)ー赤沢岳・2677m(10:40)ー鳴沢岳・2641m(11:45)ー新越山荘・2465m(12:40)ー岩小屋沢岳・2630m(13:35)ー種池山荘幕営地・2450mC2(15:00)

夜半から雨が降り出す。烏帽子方面グループを見送り、針ノ木岳方面へ出発する。幸い雨は止み立山・剣・黒部湖を眺めながら進む。午後になるとガスが発生し視界はなくなる。熊出没注意の看板があったところで、猿の群れに出くわす。当初、熊と思いきや狼狽するが、猿と判り安心する。このような高山に猿の群れを見るのは初めてである。5 つ目のピークを通過し、やっとの思いで種池に到着した。テント設営後の生ビールは格別であった。

<8 月 10 日>

C2(6:50)ー扇沢(9:00)

本降りの雨の音で起こされる。まだ、9 日の 23 時である。朝になっても止む気配がない。前回の第 1 段山行と同様、今年の気候は異変である。烏帽子班はどうするかと心配しながら、本降りの中を出発する。

<さいごに>

妻が花たちをメインに作成した PDF を下記に公開したので、本文は簡単にしました。

<http://eki-wv.ddo.jp/~trwvob.photo/cgi-bin/sp.php?286-287>

妻は「雨が降っていても、この時期の山は花を楽しめる。」と言ってました。私は青空の中、山々がクッキリ見える方が良いのですが..

(2009.08.21 記 小沢)